

第3回技術者倫理セミナー報告【徳島】

H30. 6. 23

平成30年6月23日（土）に、徳島駅前の「阿波観光ホテル」に於いて、第56回CPDセミナー・公開講座と合同開催で、第3回技術者倫理セミナーを行った。参加人数は、46名（会員28名、非会員15名、新合格者3名）であった。

講義：「技術士と技術者倫理」

技術者倫理セミナーは、倫理小委員会を構成する4県の担当者が持ち回りで講師を務めており、今回は徳島県の委員である金澤 隆が担当した。

本セミナーでは、「技術者倫理」の概要を下記の4項目に沿って、「組織」や「集団」と「技術者」及び「公衆」と「技術者」の係りを示した。

1. 最近の企業不祥事
2. 倫理・モラル・法
3. 技術者倫理とは何か
4. 技術者はなぜ特別な責任を負うのか

最初に、企業に属し、その組織内で仕事をしている技術者の倫理を考える取りかかりとして、最近の企業不祥事の事例を紹介した。不祥事が発生する原因には、「組織」や「集団」が「個人」に与える負の影響が強く出ていることを説明した。

次に、「倫理・モラル・法」と「技術者倫理」の定義に基づき、技術者の特別な責任について説明した。「相互依存性」モデル（原理）として、高度技術社会にあっては、技術の進展に法律や規制が追い付けないため、公衆はその技術に依存する一方で、専門家の倫理的判断能力に頼らざるを得ない（依存する）ことを説明した。

組織の風土と関連が深い「集団思考」の「八つの兆候」に関しては、組織に属せば必ず個人の価値観が偏ることや、企業内の従業員としての「責務」と技術者としての「公衆優先」の利害相反が生じやすいことを説明した。

最後に、実社会においても「技術者倫理」を意識することが「リスクマネジメント」につながることで、「技術者倫理」を持たない技術者は技術者と



技術者倫理セミナーの風景

は言えないこと及び技術士は公衆に対して責任を持つ立場にあり、「自分の目で見、自分の頭で考え、判断・行動する」能力に基づく、絶対的な倫理観の必要性を再確認してセミナーを終えた。

〈アンケート結果〉

本セミナーのアンケート結果は、次頁の集計結果のとおりである。アンケートは28名の提出（回収率は約61%）と、第1回、第2回セミナーに比べ低調であった。参加者の主たる活動県は、93%が徳島県であり、香川県と高知県からの参加者は各1名であった。技術部門は複数回答で建設部門が82%であった。年齢構成は40代～60代の3世代の合計が90%（各世代とも30%程度）を占めた。

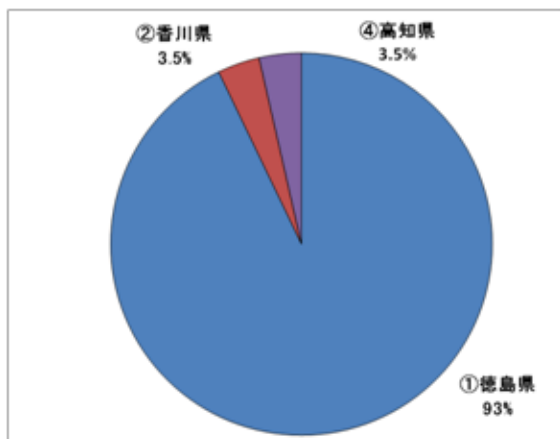
セミナーの評価は、良かったと非常に良かったが合わせて53%であった。一方、あまり良くなかったと非常に良くなかったが合わせて18%と、比較的高い割合となった。良くなかった主な理由は、パワーポイント画面が文字ばかりで、かつ読むのが中心の講義であり理解しにくかったとのこと。また、講師の「技術者倫理」に対する理解不足に加えて、準備不足が露呈したことも要因である。このことを真摯に反省し今後活かしたい。

今回のセミナーは「講義形式」であったが、「講義とディスカッションの併用」を望まれる方が36%おられたことから、今後の検討課題としたい。

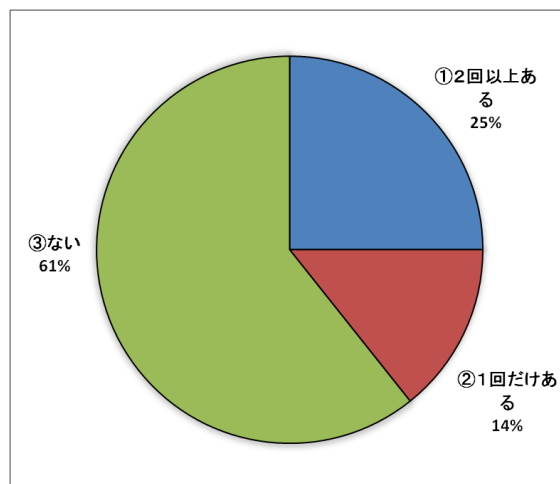
—以上—

アンケートの集計結果（第3回技術者倫理セミナー）

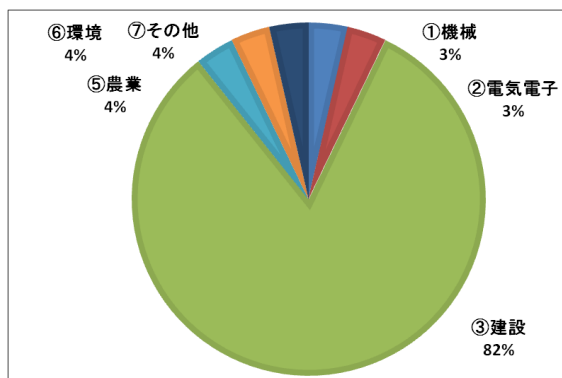
Q1:主たる活動県



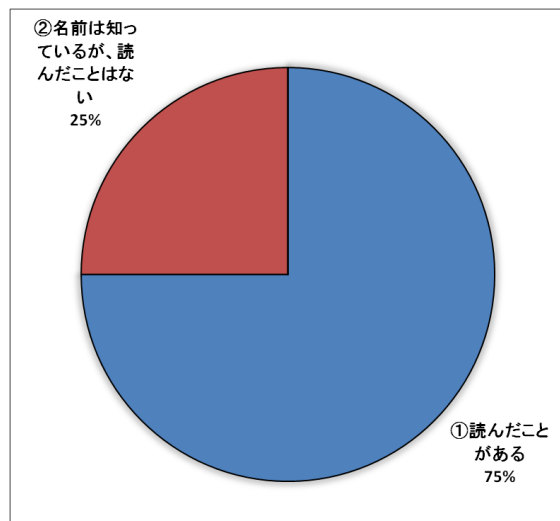
Q4:技術者倫理セミナーの参加回数



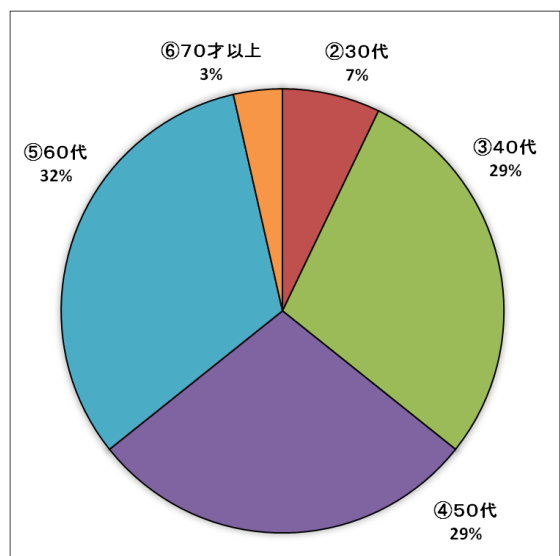
Q2:技術部門



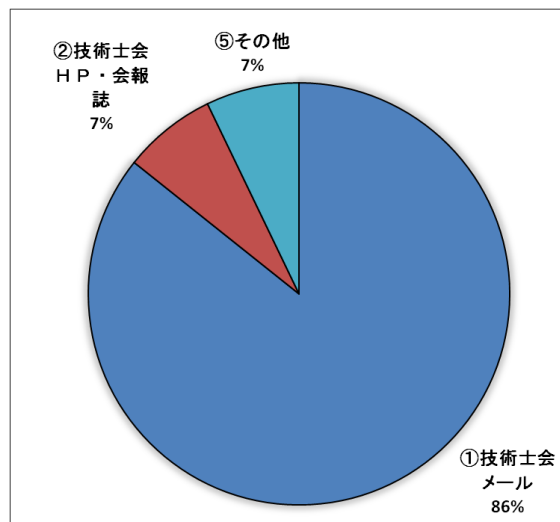
Q5:技術士倫理綱領をご存知ですか



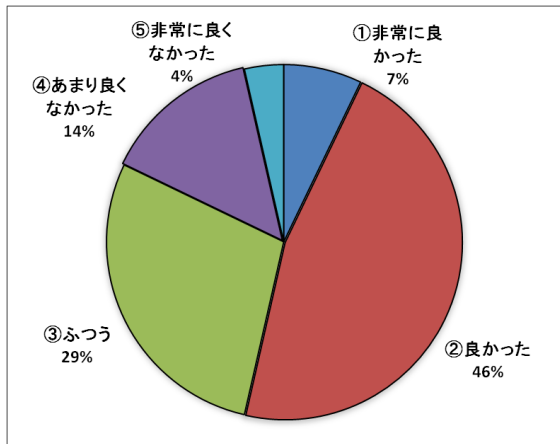
Q3:年齢



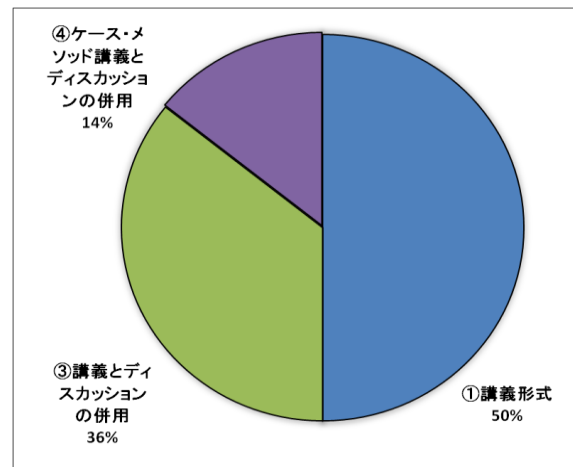
Q6:技術者倫理セミナーを知った方法



Q7: 倫理セミナー参加感想



Q8: 倫理セミナーの方式



質問 2. その他の技術部門

・森林 1名

質問 7. 感想の理由

- ・セミナー時間に対してプレゼン資料が少なかったと思う。
- ・不慣れとのことでしたが、貴重な時間のため、もう少し準備をして頂きたい。
- ・難しい内容について、苦労されていたことがうかがえた。
- ・プレゼンの準備不足だったと思います。
- ・単なる手持ち資料の読み上げになっていたと思われました。
- ・企業の不祥事が具体的に説明されていた。
- ・内容は良いが、説明・プレゼンがあまり聞き手に配慮されていない。
- ・印刷物を読み込んで理解を進める時間になった。
- ・技術者倫理についての再確認ができ、今後の技術者としての行動の参考となりました。
- ・弁護士は、反対意見を本音ベースで議論する。
一方、技術士はこのような議論をしない。クレイゴトばかり。
社会的な認識度が向上しないのもここに理由があるのではないか。
- ・講師の経験が浅い。自分もよく理解していない。
- ・技術者倫理が社会に大きな影響を及ぼすことを再認識し、
その重要性を確認できたため、今後の勉強のモチベーションとなった。
- ・難しいことが良く分かった。

質問 8. 倫理セミナー内容についての希望・要望

- ・事例を詳しくする方が良いと思う。
- ・米国のPEはどのように行動しているのか。難しい・・・
(補足: 米国のPEの倫理セミナーのようなものを希望しているかも?)
- ・ある程度 セミナーの回数を増やしてほしい。
- ・各説明について、具体的な事例を交えて説明していただければ理解がより進むと思う。

質問 9. 技術者倫理セミナーに関する要望・提案

- ・これらを教えて欲しい。
(補足: 米国のPEについてのこと?)
- ・社会的な要請もあり、少しずつ倫理観の捉え方が変化すると思います。
- ・最新事例を盛り込んだニュース的な講義が聞きたい。